

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-254471

(43)Date of publication of application : 05.10.1993

(51)Int.CI.

B62J 17/04

(21)Application number : 04-086325

(71)Applicant : YAMAHA MOTOR CO LTD

(22)Date of filing : 10.03.1992

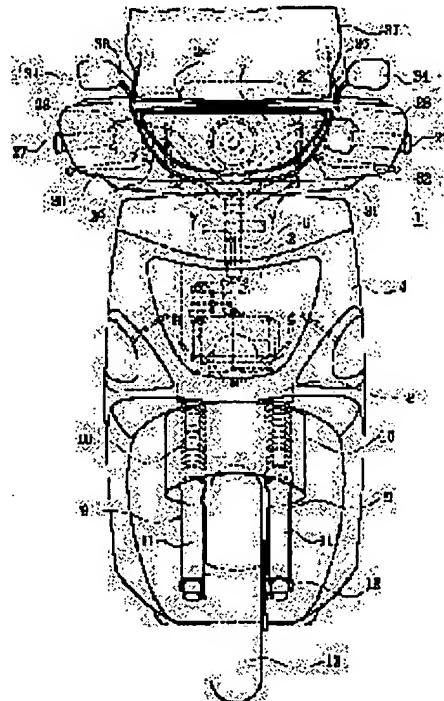
(72)Inventor : ISHIHARA YASUAKI

(54) WINDOW SHIELD MOUNTING STRUCTURE OF MOTORCYCLE

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide the window shield mounting structure of a motorcycle the windshield of which is reduced in its weight, and which has low-cost structure, and can be reliably supported on a bar handle.

CONSTITUTION: A bar handle 7 is supported to the upper part of a steering shaft 6 and switch cases 28 are arranged on both sides of the bar handle 7. A back mirror 34 is attached to the switch case 28 and a window shield 37 is attached to the mounting part of the back mirror 34 formed on the switch case 28. Further, a stopper positioned in the vicinity of the mounting part and brought into contact with the inner surface of the switch case 28 and regulating rotation of the switch case 28 is fixed to the bar handle 7.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 19.02.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3321672

[Date of registration] 28.06.2002

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-254471

(43)公開日 平成5年(1993)10月5日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号

府内整理番号

F I

技術表示箇所

B 62 J 17/04

審査請求 未請求 請求項の数1(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平4-86325

(22)出願日 平成4年(1992)3月10日

(71)出願人 000010076

ヤマハ発動機株式会社

静岡県磐田市新貝2500番地

(72)発明者 石原 靖朗

静岡県磐田市新貝2500番地 ヤマハ発動機
株式会社内

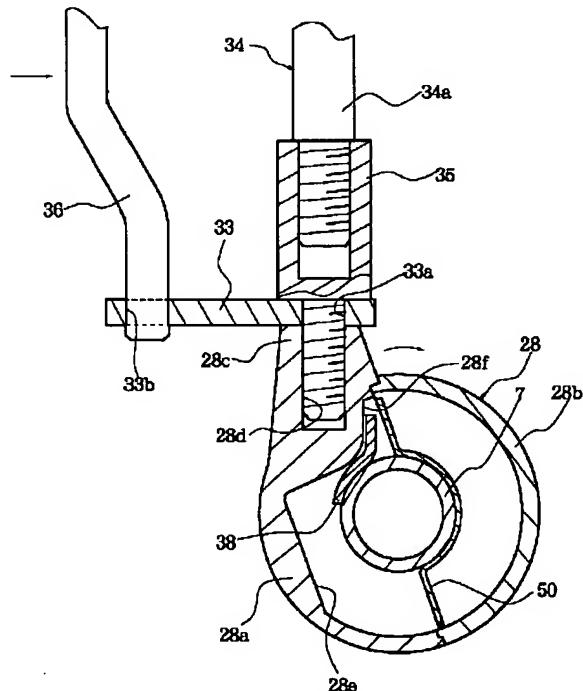
(74)代理人 弁理士 鶴若 俊雄

(54)【発明の名称】 自動二輪車のウインドシールド取付構造

(57)【要約】

【目的】 この発明は、ウインドシールドを軽量で、かつ安価な構造で、確実にバーハンドルに支持することができる自動二輪車のウインドシールド取付構造を提供する。

【構成】 ステアリングシャフト6の上部にバーハンドル7を支持し、このバーハンドル7の左右にスイッチケース28を設け、このスイッチケース28にバックミラー34を取付け、スイッチケース28に形成されたバックミラー34の取付部に、ウインドシールド37を取付け、さらにこの取付部近傍に位置して、スイッチケース28の内面に当接しスイッチケース28の回転を規制するストップ38を、バーハンドル7に固定している。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ステアリングシャフトの上部にバーハンドルを支持し、このバーハンドルの左右にスイッチケースを設け、このスイッチケースにバックミラーを取付けた自動二輪車において、前記スイッチケースに形成されたバックミラーの取付部に、ウインドシールドを取付け、さらにこの取付部近傍に位置して、前記スイッチケースの内面に当接し前記スイッチケースの回転を規制するストップを、前記バーハンドルに固定したことを特徴とする自動二輪車のウインドシールド取付構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、バーハンドルに、ウインドシールドを取付ける自動二輪車のウインドシールド取付構造に関する。

【0002】

【従来の技術】 自動二輪車には、例えばステアリングシャフトの上部にバーハンドルを支持し、このバーハンドルにウインドシールドを取付けるものがあり、このウインドシールドの取付は、例えばバーハンドルの左右に特別なステーを溶接し、この左右のステーにウインドシールドを支持している。一方、バーハンドルの左右にはスイッチケースが設けられ、このスイッチケースにバックミラーが取付けられる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 このように、バーハンドルに特別なステーを溶接すると、その分手数がかかるとともに、重量が増加し、費用も嵩む等の不具合がある。このため、例えばバーハンドルの左右に設けられたスイッチケースに形成されたバックミラーの取付部を利用してウインドシールドを支持することができれば、軽量で安価なウインドシールドの取付が可能になるが、ウインドシールドにかかる風圧等でスイッチケースがバーハンドルに対して回ることがないように配慮する必要がある。

【0004】 この発明は、このような実情に鑑みてなされたもので、ウインドシールドを軽量で、かつ安価な構造で、確実にバーハンドルに支持することができる自動二輪車のウインドシールド取付構造を提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】 前記課題を解決するためには、この発明は、ステアリングシャフトの上部にバーハンドルを支持し、このバーハンドルの左右にスイッチケースを設け、このスイッチケースにバックミラーを取付けた自動二輪車において、前記スイッチケースに形成されたバックミラーの取付部に、ウインドシールドを取付け、さらにこのバックミラーの取付部近傍に位置して、前記スイッチケースの内面に当接し前記スイッチケースの回転を規制するストップを、前記バーハンドルに固定

したことを特徴としている。

【0006】

【作用】 この発明では、スイッチケースに形成されたバックミラーの取付部にウインドシールドをバックミラーと共に取付けており、ウインドシールドが特別な部材を用いないで簡単に取付けられる。

【0007】 また、このスイッチケースは、その内部にて、バーハンドルに固定したストッパが当接し、しかもこのストッパの当接位置はバックミラーの取付部近傍とされており、これによりスイッチケースの回り止めが、簡単な構造で、外観も良く、しかも確実に行なわれる。

【0008】

【実施例】 以下、この発明の自動二輪車のウインドシールド取付構造の一実施例を添付図面に基づいて詳細に説明する。図1はこの発明を適用した自動二輪車の側面図、図2はこの自動二輪車の正面図、図3はハンドル部の側面図、図4はハンドル部の平面図、図5は図4のV-V断面図、図6はウインドシールドの取付けを示す斜視図である。

【0009】 図において符号1はスクータ型車両で、このスクータ型車両1の車体を構成するヘッドパイプ2にはメインフレーム3が後方へ延びるように溶接され、このヘッドパイプ2とメインフレーム3の前側は前側カバー4及び後側カバー5で覆われている。ヘッドパイプ2にはステアリングシャフト6が回動可能に設けられ、このステアリングシャフト6の上部には左右に延びるバーハンドル7が設けられている。ステアリングシャフト6の下部にはアンダーブラケット8が固定され、このアンダーブラケット8には左右一対のフロントフォーク9を構成する左右一対のインナチューブ10の上部が取付けられ、またアウタチューブ11の下部には車軸12が支持され、この車軸12に前輪13が回転可能に設けられている。

【0010】 また、後側カバー5の後方にはフートボード14が設けられ、そのさらに後方にはリヤカバー15が設けられている。このリヤカバー15の下方にユニットスイングエンジン16が配置され、この後側には後輪17が取付けられている。ユニットスイングエンジン16の前端はブラケット18を介して車体に支持され、後端はクッションユニット19によって車体に支持されている。リヤカバー15の上部にはタンデムシート20が設けられ、このタンデムシート20の下方にはヘルメット収納箱21が設けられ、さらにこのヘルメット収納箱21の後方には燃料タンク22が配置されている。

【0011】 前記ステアリングシャフト6の上部に支持されたバーハンドル7にはヘッドライト23が保持され、このヘッドライト23とバーハンドル7の周囲は、前側ハンドルカバー24と後側ハンドルカバー25とで覆われ、この後側ハンドルカバー25にはメータ26が設けられている。

【0012】このバーハンドル7の左右両端部にはグリップ27が設けられ、このグリップ27の内側にスイッチケース28が取付けられ、このスイッチケース28は前側ケース28aと後側ケース28bからなっている。この右側のスイッチケース28の内側に設けられたホルダ29にはフロントブレーキレバー30が取付けられ、左側のスイッチケース28の内側に設けられたホルダ31にはリヤブレーキレバー32が取付けられている。

【0013】それぞれのスイッチユケース28の前側ケース28aがバックミラー34の取付部を構成しており、このそれぞれの前側ケース28aのボス部28cに取付ブラケット33を当てがい、この取付ブラケット33の孔部33aにボルトナット35を挿通し、このボルトナット35をボス部28cのネジ穴28dに螺着する。そして、このボルトナット35にバックミラー34の軸部34aを螺着する。このように、ボルトナット35の締付けで、取付ブラケット33がバックミラー34と共に取付けられる。この取付ブラケット33の孔部33bにステー36が装着して溶接され、このステー36の上部にウインドシールド37が取付けられている。

【0014】スイッチケース28の前側ケース28aと後側ケース28bはバーハンドル7の前後から接合して不図示のねじで互いに結合され、これによりバーハンドルを狭して取付けられている。この前側ケース28aには中空部28eが形成されており、この中空部28e内に形成した段部28fと当接してスイッチケース28の回りを規制する板状のストッパ38が、バーハンドル7に溶接して固定されている。また、後側ケース28bには板材50が固定され、この板材50と前側ケース28aの段部28fとの間にストッパ38が位置づけられている。このストッパ38はスイッチケース28の前側ケース28a、後側ケース28bをバーハンドル7に組付ける際、これらの位置決めを兼ねている。このストッパ38は前側ケース28aの中空部28e内に位置しており、外部から見えないので体裁がよい。また、このストッパ38は板状とされているので、前側ケース28の段部28f及び後側ケース28bの板材50に面接触している。

【0015】この自動二輪車の走行時に、ウインドシールド37に風圧がかかると、図5に示すように取付ブラ

ケット33を介して前側ケース28aに矢印方向へ回わす力が作用するが、前側ケース28aの中空部28e内に形成した段部28fがストッパ38に当接し、スイッチケース28の回りが規制される。また、逆方向の力が作用して、スイッチケース28が逆方向に回ろうとした場合には、このストッパ38が後側ケース28bの板材50に当接して、この回転を規制する。このストッパ38はバックミラー34の取付部の直近であるため、スイッチケース28に無理な力が作用することがなく、また確実にスイッチケース28の回りを規制できる。

【0016】

【発明の効果】前記のように、この発明は、スイッチケースに形成されたバックミラーの取付部にウインドシールドをバックミラーと共に取付けているから、ウインドシールドを特別な部材を用いないで簡単に取付けることができる。

【0017】さらに、スイッチケースは、その内部にて、バーハンドルに固定したストッパが当接し、しかもこのストッパの当接位置はバックミラーの取付部近傍とされているから、スイッチケースの回り止めを、簡単な構造で、外観も良く、しかも確実に行なうことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】自動二輪車の側面図である。

【図2】自動二輪車の正面図である。

【図3】ハンドル部の側面図である。

【図4】ハンドル部の平面図である。

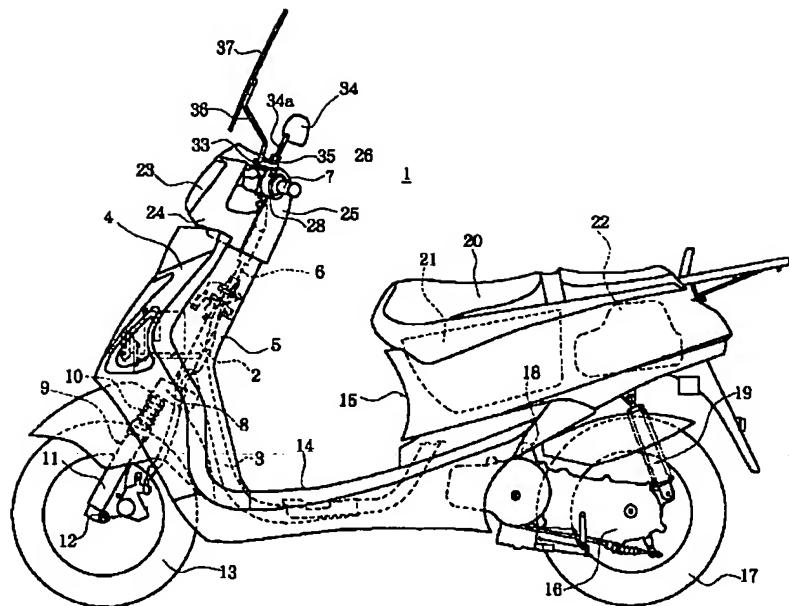
【図5】図4のV—V断面図である。

【図6】ウインドシールドの取付けを示す斜視図である。

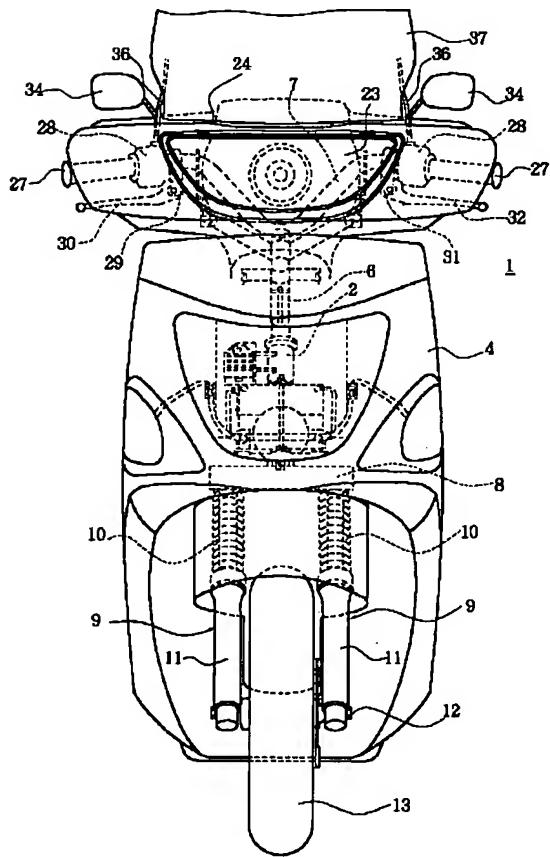
【符号の説明】

- 1 スクータ型車両
- 2 ヘッドパイプ
- 6 ステアリングシャフト
- 7 バーハンドル
- 33 取付ブラケット
- 34 バックミラー
- 37 ウインドシールド
- 38 ストッパ

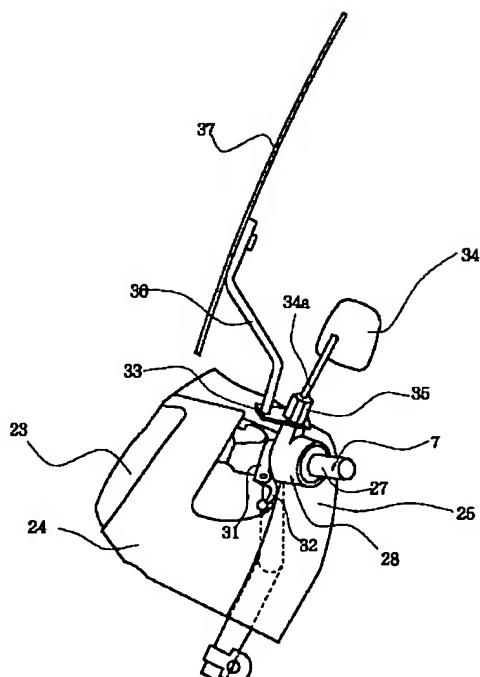
[図 1]



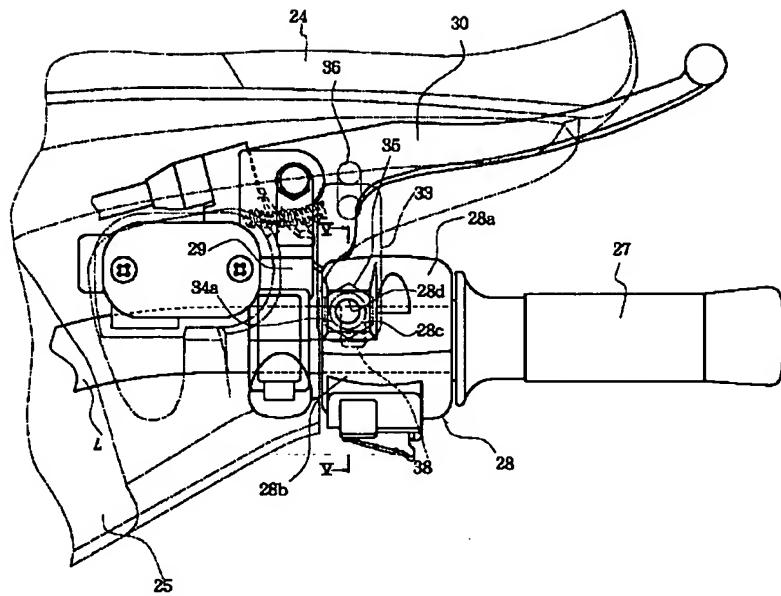
【図2】



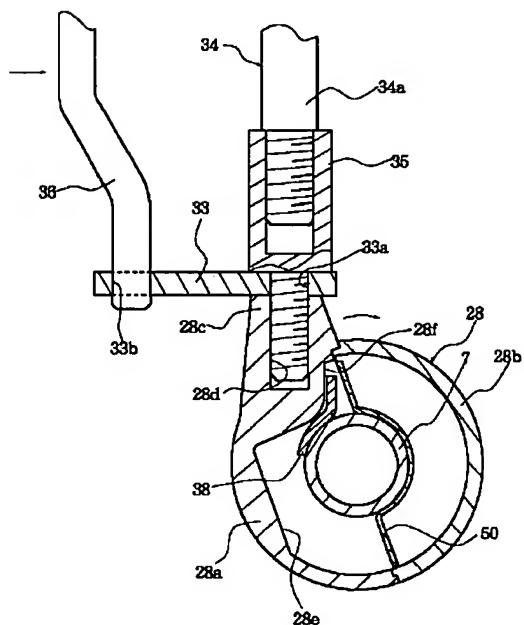
【図3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

